



2011

豊かで 住みよい 町づくり

VoL.
42

議会だより

2011. 8. 1 発行

上 勝

6 月定例会

- 4P 一般質問 **6名が町政について質問**
- 10P 研修報告 **奥出雲しいたけ視察**
- 11P インタビュー **文化琴の会**
- 12P 写真で紹介 **まちのようす**



第3回 定例会

会期 10日
開会 平成23年6月14日
閉会 平成23年6月23日

専決条例改正

国民健康保険条例の一部を改正
国民健康保険税条例の一部を改正
国民健康保険税条例の一部を改正
国民健康保険税条例の一部を改正
国民健康保険税条例の一部を改正
国民健康保険税条例の一部を改正
国民健康保険税条例の一部を改正
国民健康保険税条例の一部を改正

専決補正予算

平成22年度一般会計補正
予算(第6号)
全員異議なく承認

補正予算

平成23年度一般会計補正
予算(第1号) 訂正案可決
6名の賛成で可決

平成23年度国民健康保険
(事業勘定) 特別会計補正
予算(第1号)
全員異議なく可決

平成23年度介護保険特別
会計補正予算(第1号)
全員異議なく可決

平成23年度国民健康保険
(診療施設勘定) 補正予算
(第1号)
全員異議なく可決

平成23年度国民健康保険
(福原診療施設勘定) 補正
予算(第1号)
全員異議なく可決

平成23年度後期高齢者医
療事業特別会計補正予算
(第1号)
全員異議なく可決

議事会規則20条の規定
に基づき、財産の取得に
ついての撤回許可
全員異議なく撤回許可

財産の取得

報告

平成22年度一般会計繰越
明許費繰越計算書
第3セクター5社経営状況
土地開発公社の経営状況

発議条例改正

監査委員に関する条例の
一部を改正する条例
全員異議なく可決

選任

財産区管理会委員の選任
に同意しました。(敬称略)
任期 平成23年8月15日より
平成27年8月14日まで

- 高鉾財産区管理会委員
山下俊洋(傍示)
- 大栗一夫(傍示)
- 伊井重夫(正木)
- 柳谷政照(正木)
- 西野志津夫(正木)
- 福原財産区管理会委員
関久夫(旭)
- 平間敏男(旭)
- 岸衛(生実)
- 関康昭(生実)
- 平井眞夫(福原)
- 大滝美昌(福原)

固定資産評価審査委員会
委員の選任に同意しました。
(敬称略)
任期 平成23年9月1日より
平成26年8月31日まで

- 徳永恵一(生実)
- 田中豊司(旭)
- 峯下徹(傍示)

議会推薦

農業委員会委員 (敬称略)
任期 平成23年7月20日より
平成26年7月19日まで

- 山本美恵子(正木)
 - 古田勝子(傍示)
 - 橘茂幸(生実)
- 3名を推薦しました。

教育委員会委員の
任命に同意しました。
(敬称略)



大字旭
下岡卓司

任期 平成23年7月1日より
平成27年6月30日まで

主な討議

平成23年度一般会計補正
予算第1号訂正案
寄付金1,000万円で株
上勝バイオ保有の株(株
どり株(60株)を町が購
入する案の撤回について

反対

寄付金は一度歳入歳出に
のせるべきだ。

賛成

寄付者の意思を反映する
ためには使用目的をきち
んと決めて了解を得てか
らのせた方がよい。

反対

平成23年度一般会計補正
予算(訂正済み)について
町に入ったお金(寄付金)
は歳入に記入すべき。預
金通帳にあるだけでは不
明瞭な扱いになる。

賛成

原案は今の時期に必要な
なことであり、すぐに採
択して執行すべき。

専決

平成22年度 一般会計補正予算

(補正第6号)

追加 3,447万7千円
総額 29億4,762万6千円

主な補正

- 追加 財政調整基金積立金 1億2,800万円
- 減額 ふるさと雇用再成特別基金事業 232万7千円 (ゼロウェイストアカデミー)
- 171万9千円 (上勝バイオ)
- 緊急雇用創出事業 1,400万6千円 (上勝バイオ)
- 718万1千円 (もくさん)
- 407万7千円 (いんどり)
- [雇用に適任者がなく事業が達成できなかったため減額となった]
- 財源組換え(県補助及び国債から一般財源に) 607万7千円 (上勝バイオ対象事業)

平成23年度 一般会計補正予算

追加 2億2,856万7千円
合計 30億6,956万7千円

主な追加補正

- 財政調整基金積立金 1億1,000万円
- 新しい公共モデル事業 2,600万円
- エコバレー推進事業 1,202万円
- 棚田サミット事業 200万円
- 道路維持費(瀬津野尻線・下野日浦線) 365万円
- 道路新設改良費(萱木屋線) 4,178万7千円
- 文化振興費(重要文化的景観選定申出推進事業(委託)) 493万円

平成23年度 特別会計補正予算

- 追加 ● 国民健康保険(事業勘定) 6,749万2千円
- 国民健康保険(診療施設勘定) 651万9千円
- 介護保険 392万8千円
- 後期高齢者医療事業 54万8千円



片山文昭 議員

自然エネルギーの 利用促進を

問 本町の年間消費電力(約1,131万kWアワー)の内、水力と風力の自給可能率はどのくらいか。

答 町長 小水力発電の調査は、昨年62ヶ所行い、候補地として26ヶ所を選定している。

問 緑の分権改革推進事業で小集落単位での設置可能場所は見つかったのか。

答 町長 耐震診断の結果、IS値が大きく安全だ。工事費に8,000万円もかかる。補助金が来ない。出来ない。

問 高鉾公民館の耐震補強工事はやめたのか。2階のブロック間仕切りが落下し死傷者が出る。IS値でなく、これが改修目的だった。

答 町長 耐震診断の結果、IS値が大きく安全だ。工事費に8,000万円もかかる。補助金が来ない。出来ない。

問 「補強」が「新築」になり、今度は「やらない」に変わったのか。

答 町長 ①建て替の場所に建てる、③補強する。以上3つの方向で検討する。公民館は廃止を教育長に検討依頼した。

防災とライフライン



明本恵一 議員

問 山津波、地滑り、急傾斜地崩壊、巨大岩石の落下などの防止策は。

答 町長 身の回りの危険箇所の、住民一人一人が防災意識を持って見て廻り、危ない箇所は建設課へ連絡ください。

問 災害時の通信確保が急務だ。清水山に中継局(レピータ)を設置すべきだ。

答 総務課長 全国で1,000局あるが、アマチュア無線家が激減している。上勝町では難しい。

問 停電時にはIP電話が使えない。無停電電源装置を配布すべきだ。

答 町長 IPだけにせよとは言っていない。配布する考えはない。

問 住まいの安心・安全のため、リフォーム助成を推進すべきだ。

答 町長 農家民泊に支援することを考えたが、まだ結論が出ていない。

問 瀬津地区は早くから飲料水欠乏問題に悩まされた。なぜ他所が優先実施されるのか。

答 町長 殿川内の浦川からポンプアップ、いっきゅう簡水からの導水を考えたが、多額の費用がかかり断念した。谷口・高畑・中瀬津は水利権の交渉中である。

水道未普及地帯の 解消いそげ

問 国土調査が始まって15年になるが平成22年度現在の進捗率は。

答 町長 法務局送付済み面積34・06平方キロメートル、事業進捗率31・05%。

問 平成23年度以降の事業費の見通しは。

答 町長 3月4日ごろに飯泉知事に要望した時、過去3ヶ年の様な形で予算を確保したいといっていた。しかし、東日本震災が起きたので、県予算がどうなるか心配している。

問 再度知事に対し、関係市町村長と最大限の努力をしていく。



風力発電

ゴミゼロ達成状況は

問 ゴミゼロ達成率が下がらない理由の中に、福祉関係等のオムツが焼却に回り数値が下がらない。関係機関と研究すると言っていたが、検討結果は。

答 産業課長 平成20年から企業と健祥会で、紙オムツの保水力を高めたもので実証実験をしていたが、尿漏れ等が発生し昨年9月に打ち切った。現在は、洗濯して使用可能な布パンツで実証実験中で、利用の快適性とか保水性を調査している。(リサイクル率平成10年54・8%、平成15年77・2%、平成22年53・9%)



湖南線の落石



多田和幸 議員

障害者にやさしい町づくり

問 公共施設には障害者用の駐車場を設けてはどうか。

答 総務課長

十分協議の上、設置については検討したい。

上水道は

問 高齢者等で家庭内のパイプが破損などにより、漏水して気づくのが遅れ多額の水道代が請求されることがある。救済措置はないか。

答 町長 給水条例の減免措置を準用し周辺市町村の状況を調査して判断し対応する。

問 瀬津地区の予算執行状況は。

答 建設課長

簡易給水施設等基本計画を発注している。

問 いつまでに行けるか。

答 建設課長

6月28日までにできる。

問 府殿地区はどのような計画で進んでいるか。

答 建設課長

防火施設等の配管を利用して進めている。

問 中瀬津地区は。

答 建設課長

現在水源が2ヶ所有り、一本化等の要望も出ており、詳細はとりまとめ中。

問 高畑地区は。

答 建設課長

簡易給水施設で榎地谷と西簡水を水源に検討している。

問 当地区では砂防堰堤が計画されている。その水は使えないか。

答 建設課長

いつ工事が着手になるかわからない。

問 谷口地区は。

答 建設課長

水源は肥ノ谷の地山の堰堤等で調査している。

問 戸数が少ないが補助の対象になるか。

答 建設課長

最小3戸と理解しているが、不明瞭なので調べて報告する。



給水タンク

問 瀬津地区で今年の春、飲料水が枯渇して町水を運んだのは何戸で何日間か。

答 建設課長

4月11日より5月6日まで。

問 町の職員が運ぶべきでないか。

答 町長 現状では職員も限られており対応できない。

チップボイラーの問題点は？

渡部

オーストリアのメーカーが分析中

産業課長

問 木質チップボイラーの導入は良い事業だったが、故障や不備が多発した。しかしその場しのぎの対処で、根本的な改善がなされなかった。

答 産業課長

平成22年11月以降、隔壁補修、センサー・スイッチ類の交換、油圧の調整などしてきた。本年5月に油圧ポンプを交換して

問 アート「時の橋」の前に設置された三角ハウスが利用されず、させてもらえず、ただ場所ふさがりになっている。

答 産業課長

あれは昭和63年度の間伐材利用モデル施設事業で設置された。

キャンプ場上の駐車場、キャンプ場、そして今の農村公園へと移動してきた宿泊施設として利用できるということ、(株)いつきゅうが管理しているが、実際に利用されたことはない。

廃棄するか、修繕して活用するか、年内に結論を出したい。



農村公園の三角ハウス

映画の費用

問 町は「そうだ、葉っぱを売ろう」のために2,000万円プラス100万円を負担した。これは町内に落ちる金との説明だったが、今までにどれだけ何に使われたか。

答 産業課総括参事

既に彩公園とかウナギ池ハウス小屋などが発注されているが、費用は6月末で1回まとめることになっていて。何らかの形で報告する。

震災と自販機

問 上勝町にも災害対応用の自動販売機が置かれているが、東日本大震災においては利用されたのか。

答 総務課長

四国コカコーラに聞いたところ、青森、秋田、岩手で24台稼働、12,000本が無償提供された。宮城、山形、福島については不明、海岸沿いで津波に襲われたところでは自販機ごと流されたという事だ。



渡部厚子 議員

次にまた、新しい公共という大きいエネルギー事業が実施される。同じ失敗をくり返さないため



阪松明義 議員

災害対策の見直しは

問 災害対策の見直しはないのか。

答 町長 町としては雨季の大地震あるいは台風、集中豪雨が一番恐ろしいと考えている。

特に本町については土石の上流木の被害が増大するのではないかと。国土交通省四国整備局から本町に来たときに、今後流木というのを明確に入れてくださいと話している。以前に木沢村の崩壊被害を見られた方は、非常

に深くえぐりとられるというので、これらについて勉強して見直す必要があるのではないかと。今までは違う気候変動が非常に多く、今後これらについて勉強して見直しが必要と思うので、検討していく。

棚田サミット

問 棚田サミットは。

答 産業課長 現地見学会は八重地、市宇、田野々、檜原の4地区から申し出があり、代表者に棚田サミット現地見学会という形で2回

ほど説明させていただいた。他にも、地区説明会を3月17日から4月9日の間に要望があった3地区(市宇・檜原・八重地)へ地区説明会に入っている。全体の事業の中で各地区でやっていただき、案内・添乗するかは現地で協議してもらいたいと思っている。今後は詳細な打ち合わせを各地区とやっていく形になる段階に入っており、各地区の代表者がとりまとめをしている状況だ。

駐車場の新設は

問 瀬津野尻線の駐車場の新設は。

答 建設課長 瀬津野尻線の大平中央の合流点で駐車場ということとで道路改良は現在用地関係者と協議しており、基本的には了承を得ているので、近々事業着手にかけたい。

瀬津野尻線の大平中央の合流点で駐車場ということとで道路改良は現在用地関係者と協議しており、基本的には了承を得ているので、近々事業着手にかけたい。

地デジの最終対応は

問 地デジの最終対応だが、光ファイバー未加入者はどうするか。

答 総務課長 町民の方からはほとんど相談がないのが現状だ。

未加入者の人はテレビを見ない、たまにしか帰ってこないから必要ないと辛抱するという方がほとんどだ。今後相談があればその人の要望に応じた対応を勧めたい。



未対応のテレビ

避難勧告が出たとき

問 避難勧告が出たときは、どこへ避難すれば良いか。

答 総務課長 まず近くで安全な場所へ。それから、集会所・学校・体育館など大きな施設を指定している。

問 仮設住宅の用地は。

答 総務課長 一例として、福川グラウンド・旭集落センター、足りないときは、私有地をお願いするようになる。

正木トンネルの

問 正木トンネルの開通式は。

答 建設課長 現在トンネル周辺の舗装工事、取合い工事をして

いる。まだ交通安全施設や町道交差点の工事の発注が残っている。東部県土整備局によると、9月までに完成したいと言っている。

新しい公共事業とは

問 新しい公共事業とは。

答 町長 内閣府の事業「新しい公共」で、23年度から24年度の2ケ年で4,500万円をいただいた。今年度は、2,500万円の助成に100万円上乗せ

する。

内容は、町内の宅配システムの構築、高齢者の見守り、買物難民の支援、町内での買物促進とゴミを減らした商品の提案、実証実験、それと、町内でエネルギーを自給する調査をしていく。

上勝町エコバレー推進事業とは

問 上勝町エコバレー推進事業とは。

答 町長 国から直接の交付金で1,000万円いただけるようになり、202万円を上乗せし、過疎地域の自立ということで、小水力発電2台購入、メタンガスの利用、液肥の利用等を実証実験する。

液肥プラント



鹿島國男 議員

写真で紹介 まちのようす



彩公園雪柳植付（正木いっきゅう運動会）



お茶の加工（旭）



映画「そうだ…」のエキストラ



神田地区集落再生プロジェクト
猿滝景観整備事業



夏まつり（彩保育園）



草刈（福川名）



節電、節電と声高く
日本中にさげられる今日ですが、果たして電力が本当に不足しているのでしょうか。

昭和40年前後は、扇風機があれば、十分に夏は過ごせた時でなかったか、昔話のような思い出が浮かんでくる。

お盆も、もうすぐです。町民皆様も暑さに負けず、お体に気をつけてがんばってください。
（阪松）

編集後記